



京臨技会報

KYOTO ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所 (社)京都府臨床検査技師会
 発行責任者 今井 秀一
 編集者 白波瀬 浩幸
 〒606-8395 京都市左京区
 東丸太町 9-1 マンパワービル 3F
 TEL・FAX 075-752-5090
 E.mail : mbox2@kyoto-amt.js-md.net



CONTENTS

- TOP ◆ 第49回医学検査学会の御礼
- RECOLLECT ◆ 回想 — 第49回近畿医学検査学会を振り返る —
- ANNOUNCEMENT ◆ 平成21年度精度管理合同報告会
- PROCEEDINGS ◆ 理事会議事録(第5回、第6回、第7回)
- ANNOUNCEMENT ◆ 第20回京臨技学術発表会
- ◆ 生活習慣病予防啓発事業

第49回医学検査学会の御礼



第49回近畿医学検査学会に際しまして、多大なご協力やご支援を賜り、誠にありがとうございました。三団体合計の有料参加者数1,582名、総参加者数1,842名と多数のご参加をいただき、盛会裡に終了することができました。

ご多忙中にもかかわらずご参加いただいた先生方を始め、学会運営にご協力、ご支援いただいた関係各位には、心より感謝とお礼を申し上げます。

なお学会役員一同、不慣れなため不行き届きの点が多々あったかと存じますが何卒御寛容下さい。末筆ながらご支援いただいた皆様方の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

平成21年12月吉日

第49回近畿医学検査学会

会長 今井 秀一

RECOLLECT

回想

第49回近畿医学検査学会を振り返る

第49回近畿医学検査学会を振り返って

実行委員長 白波瀬浩幸（京都大学医学部附属病院）

■ 学会テーマ

「このままでいいのか！検査室」、「仕事に直結！お勉強学会。」、「臨床検査スキルアップ」、「ホップ・ステップ・ジャンピンぐう〜」。平成20年7月の第49回近畿医学検査学会準備委員会で学会テーマ案として挙げたものである。始めから気合を入れすぎずに柔軟な発想でテーマをきめたいと考えたからではあるが、これらは余りにも柔らかすぎた。

過去の近畿学会のテーマをみると、「診療と健康の一翼を担う臨床検査」（第44回；奈良）、「Chance to Change ～研こうスキル（技術），広げようフィールド（職域）～」（第45回；滋賀）、「今、輝くとき！新しい環境に挑戦」（第46回；福井）、「臨床検査新時代の幕開け～協働と発展～」（第47回；大阪）、「はばたこう未来へ～Flap to the future～」（第48回；兵庫）と、具体的なメッセージ性のあるものや抽象的ではあるが発展性を期待するものなどがテーマとなっている。

最先端医療をとりあげるよりも日常業務に密着した内容、日常の検査業務にフィードバックできるような内容の学会にしたいという思いから、『見方が変わると、仕事が変わる～臨床目線で検査をみる～』というテーマでいくこととなった。このテーマの意図は、疾患を中心に据え多角的な視野で臨床検査をみることによって、業務に役立つきっかけをひとつでも持ち帰っていただきたいという思いを込めた。



■ みやこめッセ

学会場の選択は重要な問題である。前々回の京都開催では伏見区の京都府総合見本市会館パルスプラザ、前回は京都国際会議場での開催であった。今回の会場は、医療推進協議会で利用した経験のある京都市勧業館「みやこめッセ」での開催とした。地下鉄の駅から近いこと、平安神宮や南禅寺、京都国立近代美術館などが隣接する岡崎公園にあるなど、交通の便や学会の息抜きとなる観光スポットが近くにあることが決め手となった。

学会前日に「みやこめッセ」が学術集会場ではなく、あくまで展示場であることを後々痛感することになるのだが、会場決定の時点ではまったく予測する由もなかつた。



った。

■ 特別企画

第1回実行委員会は、平成20年9月2日に開催した。各研究班長には学会テーマに沿った企画のシンポジウ

ムをお願いした。研究班によっては各府県班長の申し合わせで、予め今年のテーマが決まっている場合もあるので、必ずしも学会テーマに併せた企画とはいかない場合もあったが、もちろん問題はない。

特別講演は、社是に「おもしろおかしく」を掲げておられる技術者出身のベンチャー企業経営者である堀場雅夫氏に依頼した。教育講演は、京都府医師会と合同開催した学術講演会にて大変分かりやすく肝炎のお話をしていただいた前京都府立医科大学教授の岡上武先生である。岡上先生から「大至急！！講演タイトル考えてください」ということであつたので、慌てて『肝臓病 Up-To-Date～検査データでここまでわかる肝疾患～』としました。10月の講演依頼で翌年11月の学会を1ヵ月後の講演と勘違いされていたようで、『大至急！！』の意味を後に知ることとなった。

そのほか、京都市に本社のあるワコールの人間科学研究所の坂里祭氏に講演いただくこととし、さらに学会長の所属施設である綾部市立病院の名誉院長、白方秀二先生にもお話いただくこととなり、特別講演は4講演となった。

■ 余裕から焦り

一般演題を7月末で締め切る予定であつたが、集りが悪く8月20日まで延長した。しかしこれは予定通り。セッション割付、技師会側の座長選任、日本検査医学会側の座長選任と遅れつつもだいたい予定通り。特別企画の抄録や企業プレゼンの抄録など、遅れていたものもあつたが、関係者の大いなる努力によってなんとか予定通り。ポケットブックの印刷原稿の出稿となつたのですが、仕上がりが・・・。

いろいろ手違いがあり、仕上がりが大幅に遅れた。ポケットブック仕上がりを待つて一般演題の採用や座長委嘱状など、大詰めとなる作業がモタつた。なんとなく、余裕を感じていたのに、あれっ？

■ メールは嫌い

本番の1ヶ月前くらいから、そろそろヤバイ。メーカープレゼン、シンポ打ち合わせ会議、宿泊関係、運営委員配置、看板の文字、下見のこと、遅れてきた演題登録漏れの問い合わせ、学術表彰のこと、開会式の段取り（兵庫の依頼で誰が表彰状のお盆を持つかなんて・・・）などなど。メールのリアルタイム対応はとても無理なので、17時以降にまとめてバッチ処理。返信に時間がかかりそうなものは、一晚寝かせて翌日の早朝処理。

就活、婚カツと並んで、「朝カツ」（朝活＝早起きして朝の時間を有効活用すること）がブームだということを聞き、まさにそれ。朝の4時半頃におきてモソモソ作業する。前日はちゃんと早めに寝て睡眠の質を大事にしたいと心がけていたものの、この時期はキツかった。

■ みやこめっせは展示場

本番を翌日に控えて、いよいよ会場入りです。会場設営が進んでいくと、学会らしくなってきます。クライアントである我々が立会って、最終の会場チェックを業者さんと回った。第二会場と第三会場は大展示場をパーティションで仕切ったもので、音が隣室に干渉するので、第二会場と第三会場の間には本部を設けてある。

さて、最終チェックですが、第二会場に照明調整器がありません。その前チェックした第一会場では、十分な暗さが得られず、全部照明を落とすか、この程度で妥協するか議論をしたばかりであつたが、第二会場では照明調整するところすらない。第三会場をチェックすると同様であり、みやこめっせの職員に来ていただき、調光器が外の廊下にあることが分かった。実務委員による手旗信号で調光することも考えたが、結局全体的に暗めに、発表毎に明るさ調整しないこととした。「みやこめっせ」は、会議場ではなく展示場であつた。

■ 無事に終了

不安が先行する初日がスタートした。みやこめっせの開場（我々スタッフの入場可能時間）が7時40分で、9時からプログラムスタート。しかも各会場が一斉に開始するという学会日程表を恨めしく思ったが、すべて我々



の企画である。学会の中身を充実させたい思いが強く、学会運営の観点からの配慮が不足していたかと思ったが、あとの祭り。しかしながら細かな問題はあったにせよ、盛会のまま無事終了することができた。これも偏に実務委員のみなさんのお陰であり、京臨技会員の底力を実感した。

さて、学会の「つづき」どうだったんでしょう。学会参加いただいた会員の評価ある。参加者数でみると大成功といえるが、内容の客観的な評価はわかりません。学会に参加していただいたみなさまがそれぞれの仕事場において、「明日から実践できる何か」、「臨床貢献に繋がる何か」を持ち帰っていただけたのなら大変嬉しく思います。

そして、『前向きな姿勢でことにあたれば、だいたい何とかなる。』これは僕自身が学会で学んだ「明日に繋がる何か」ということになります。

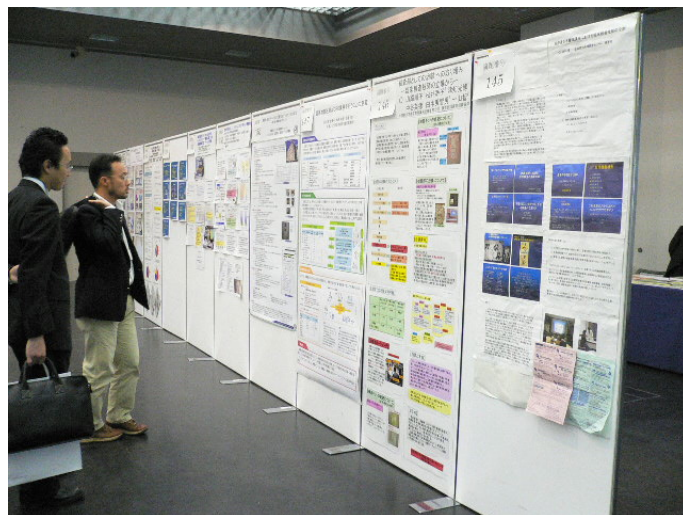


第49回 近畿医学検査学会感想

理事 豊山浩祥（京都桂病院）

実務委員としての仕事は学会前日の準備を含めると3日間であった（1年前からの委員会は除く）。準備は慣れない肉体労働的な仕事も多く、大変疲れた。しかし、学会当日の2日間は精神的にもはるかに疲れた。ただ、学会当日、実行委員として働いていただいた研究班の班長さんをはじめ班員の方々、賛助会員の方々、それに学生諸君も文句のひとつもなく皆よく働いたと思う。とても感謝している。地方会ならではの手作り学会であったが、大きなトラブルもなく、想像以上の入場者に大成功といえるのではないかな。

4年前の全国学会京都大会では、病魔のため何もできず、いち会員として少し参加しただけで、口惜しいおもいをしたが、その半分くらいは今学会でリベンジできた思いである。



第49回近畿医学検査学会を終えて

病理研究班 江口 光徳（徳州会宇治病院）

平成21年11月28日、29日に開催された第49回近畿医学検査学会におきまして、実務委員及び病理シンポジウム担当者として参加させていただきましたので私の関わったシンポジウム等の感想などを報告します。

○病理シンポジウム

今回劇物の取り扱いと作業環境について～主にホルマリンの取り扱いを中心に～をテーマにシンポジウムを行いました。環境対策の製品を販売している業者から、大規模病院、中規模病院、検査センターとそれぞれの立場から4演題発表があり、最後に相互討論が行われました。当院からは中規模病院の立場として演題を発表させていただきました。業者からは今回の予防規則改正のポイント、これまでの流れ等詳しく説明いただき、大規模病院では非常に検体数が多いので作業場所も広く、環境整備が大変そうでした。検査センターからも、検査センタ

一での工夫や、ホルマリンの販売など特殊な部分を聞かせていただきました。今回のシンポジウムを担当させていただき、当院のできている部分とまだまだ整備しなければいけない部分など良く分かり、大変参考になりました。今後この経験を生かし、当院の設備や職員の意識をさらに改善、改革していきたいと思っております。会場にて聴講された参加者の皆様におきましても、少しでも参考になったならば幸いです。

○細胞・生理シンポジウム

今回細胞検査は生理検査とのコラボ企画でシンポジウムが開催されました。腫瘍非形成性乳癌について～特に DCIS について～をテーマに行われ、細胞検査士、超音波検査士、病理医、臨床医（外科医）それぞれより講演がありました。普段細胞診を見ている我々も、やはり画像所見がある程度理解できないと良い判定ができないため、このようなシンポジウムは非常に役に立ったと思います。腫瘍非形成性病変、非浸潤癌の判定は非常に難しく、間違えると大変なので常に慎重にみていますが、大事なポイントなど色々と聞けることができ大変参考になりました。ここで学んだ知識を通常のルーチンに生かしていきたいと思っております。



その他特別講演や、教育講演など興味ある講演を聞き大変刺激になりました。学会長、実行委員長をはじめ理事の皆様、事務局の皆様、研究班の皆様、その他関わられました全ての皆様大変お疲れ様でした。



平成21年度精度管理調査合同報告会

日 時：平成22年2月27日（土） 14:00～17:00
 会 場：京都府立医科大学附属病院 臨床講義棟2階 北臨床講義室
 講 師：各研究班精度管理委員
 会 費：日臨技会員 無料、 非会員 3000円
 主 催：（社）京都府臨床検査技師会

※京都府立医大は工事のため、北臨床講義室へは北玄関から入り2階へお上り下さい。

問合先：京都府立医大臨検 石澤 衛 TEL 075-251-5656

精度管理調査合同報告会タイムスケジュール（予定）

| | | | |
|-------|---------|-------|------------|
| 14:00 | 開催 | 15:30 | 微生物研究班報告 |
| 14:05 | 生理研究班報告 | 15:45 | 血液研究班報告 |
| 14:20 | 病理研究班報告 | 16:00 | 血清研究班報告 |
| 14:35 | 細胞研究班報告 | 16:15 | 臨床化学研究班報告 |
| 14:50 | 輸血研究班報告 | 16:30 | データ共有化事業報告 |
| 15:05 | 一般研究班報告 | 16:50 | 終了 |
| 15:20 | （休憩）10分 | | |

平成21年度 第5回定例理事会議事録

日時：平成21年10月15日（木）18:30～20:30

場所：京臨技丸太町事務所

議長：今井

書記：林 議事録署名人：今井、白波瀬

出席者 会長：今井 副会長：白波瀬、芦田、石澤、
理事：佐々木・山田・林(雅)・石澤・荻野・藤崎・小澤
欠席：青山・早瀬・西川・高嶋・中村・豊山

委任状：広瀬・青山・林孝俊

顧問：田畑・清井 監事：日臨技理事：湯浅 事務局：山方

【報告事項】

○ 今井会長：

・9/11 新入・転入会員研修会 18:00～21:00 教育文化センター

・9/18 インフルエンザ緊急研修会 19:00～20:30 綾部市保健福祉センター

・9/26 JICA 研修（中間レポート発表会） 10:00～16:00 大阪 JAIC

・10/2 近畿会長会議 17:30～20:30 大阪事務所

・京都 J A I C にて 洛西浄化センター・島津製作所へ同行見学

○ 芦田副会長：

① 暮らしと健康展関係 9月19日～20日（参加人数などの詳細は、理事会当日に報告

佐々木理事の報告より

20日の血糖検査受診者は580名、(全体の出席者総数は京都府医師会より11月頃になります)

②9月30日（水）京都府庁内 NPO パートナシップセンター会議室

「葉月プラナスの会」開設一周年記念セレモニー・・・に出席。
(京都府臨床検査技士会に謝辞と、今後の協力を要請されました)

③10月4日（日）京都府医師会会館大ホール

「新型インフルエンザ対策研修会」に出席。(京都私立病院協会が主催)

(京都新聞・毎日新聞の記者の方に研修会の説明をしました)

④10月5日（月）

院内感染対策支援実施（京都私立病院協会主催）

市内の某病院へ、院内感染対策支援を行いました。

○ 石澤副会長：

精度管理事業

10月20日（火）18:00 サーベイ準備 於保健衛生

10月22日（木）サンプル配布予定

○ 白波瀬副会長：

・9月30日（水）京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻博士後期課程設置記念行事参加（会長代理）

・第49回近畿医学検査学会関係ポケットブックを10月10日過ぎに各府県事務局・関連団体事務局に送付予定であるがやや遅れるが、遅延している（23日発送予定）

・10月8日 学術表彰に関する打ち合わせ（京都保健衛生専門学校小会議室） 荻野学術部長と

・10月15日 ワコール本社訪問（第49回医学検査学会打ち合わせ）

・日臨技公益事業「乳がん撲滅」の報告書を送付した

○ 荻野学術部長：

・9/18,20 暮らしと健康展 準備及び出務

・呼吸器関係（テイジン、前年度同様）の後援依頼書類提出予

定

○ 小澤総務部長：

・次回行事予定発送予定 10月26日（火）学会ポケットブック同封します

○ 中村理事：

9/11（金）18:00～21:00「第11回新入転入研修会」を京都教育文化センターにて開催しました。参加者総数40名

○ 山田理事：

9/18,20 暮らしと健康展 準備及び出務

呼吸器関係（テイジン、前年度同様）の後援依頼書類提出予定

○ 湯浅日臨技理事：

・第58回日本医学検査学会 参加者総数 3,538名

内訳 会員(実行委員含む) 2,423名

会員証不携帯 290名

非会員 647名

日臨技役員 30名

学生 148名

・第3回 AAMLS 学会 参加総数 193名（内114名日本人）

【委嘱・承認事項】

1. 会員動向（別紙資料1）

会員総数 965名（10月5日現在）新入会 6名、退会 0名、転入 3名、転出 2名

2. 後援申請書 『第10回京都呼吸ケア研究会』主催団体；京都呼吸ケア研究会

昨年も後援実績あり

3. 京臨技会員動向調査（退会者について）のために必要な会員データを田畑顧問に預け分析をお願いしたい。

【検討議案】

1. 日臨技会長選挙・副会長選挙について（今井）

京臨技として会長推薦 尾崎氏 副会長推薦 富永氏・・・承認

2. 近畿 OB 会の名簿作製について（今井）

名簿作製する・・・承認

3. 臨床検査の基準範囲設定の協力依頼について（今井）・・・継続

4. 日臨技役員候補の選出について 現：湯浅、田中 中山 森嶋（今井）

立候補者があれば今井会長まで届出・・・承認

5. 第49回近畿医学検査学会、その他研修会でのインフル対策について（小澤）・・・承認

マスク自動販売機を会場に配置し販売する。販売機10万円、マスク2枚入り納入価約60円、販売価100円。この販売機購入によりマスクの在庫切れのないよう優先納入してもらえ。

6. 日臨技エイズ撲滅キャンペーンに申請について・・・承認

12月5日、京都駅周辺で啓発ティッシュ、啓発コンドームを配布する

平成21年度第6回定例理事会予定

11月12日（木）18:30～20:30

会場：京都保健衛生専門学校 大会議室

平成21年度 第6回定例理事会議事録

日時：平成21年11月12日(木) 18:30~20:30
 場所：京都保健衛生専門学校 大会議室
 議長：今井
 書記：中村 議事録署名人：今井・石澤
 出席者 会長：今井 副会長：白波瀬・石澤
 理事：佐々木・山田・荻野・藤崎・小澤・中村・高嶋・廣瀬
 ・早瀬・林孝俊・林雅弘・青山
 欠席：豊山・芦田・西川・丹羽
 顧問：田畑 監事：日臨技理事：湯浅 事務局：山方
 当会顧問の「小坂明」氏急逝につき出席者全員にて黙祷を行った。ご冥福をお祈り申し上げます。

【報告事項】

○ 今井会長：
 ・10月15日 JICA同行研修 洛西浄化センター・島津製作所
 ・10月22日 北部勉強会「オカルトHBV」 舞鶴グランドホテル
 ・10月30日 北部研修会(血液) 舞鶴
 ・11月02日 近畿技師会会長会議 大阪事務所 報告内容別紙
 ○ 石澤副会長：
 ・10月22日 精度管理サンプル配布 11月13日回答締切
 ・11月02日 近畿医学検査学会打合せ会議
 出席者：臨床検査医学会 佐守先生・土井氏
 みやこめっせ・タケナカ・コソギ担当者
 石澤・白波瀬・荻野・小澤・林雅・高島・中村・早瀬・山方
 ○ 白波瀬副会長：
 会報(No.34)発行
 ○ 小澤総務部長：
 ・エイズ予防啓発市民配布品見積もり依頼中
 ・京都和光純薬(株)様より近畿学会用としてサージカルマスクを寄贈して頂きました
 ・第20回京臨技北部学術発表会の公開講演につき日臨技公益事業申請します
 ・日臨技会長選挙投票用紙が医学検査雑誌同封で会員に郵送さ

れました、投票期限は平成21年12月3日必着です。当会として「小崎繁昭」氏を推薦します。
 ・「ペースメーカーフォローアップ研究会」HPとのリンクについて
 ・次回行事予定表発送予定 11月20日(金)
 ○ 早瀬理事：
 JICA仏語圏アフリカ臨床検査技術コースの研修を受け入れました。
 10月16日(金) 10時~16時 研修生10名 研修内容別紙

【委嘱・承認事項】

1. 会員動向(別紙資料1)
 会員総数 963名(11月9日現在) 新入会1名、退会2名、転入0名、転出3名・承認
 2. 後援申請 第16回近畿臨床工学会 会期:12月12・13日 京都テルサ・承認

【検討議案】

1. 京臨技丸太町事務所契約更新について 12月にて3年経過・・・承認
 2. 京臨技HPでの班員募集について(相田)・・・承認
 3. 奈臨技のHPや奈臨技ニュースに京臨技臨床化学の研修会案内等を掲載あるいはHPでリンクさせることは可能か(荻野)・・・承認
 4. 世界エイズデー配布品について
 ・エイズデーに向けて condom の注文が殺到しておりパッケージ印刷が間に合いません。 condom 1個をビニール袋に入れたものを納品してもらい、手作りシールを貼る事で対応可能です。見積価格は1,000個で¥60,000円
 ・12月5日午後2時から京都駅前配布作業実施(関係先&行政と要調整)・・・承認

平成21年度第7回定例理事会予定
 12月10日(木) 18:30~20:30
 会場：京臨技丸太町事務所

平成21年度 第7回定例理事会議事録

日時：平成21年12月10日(木) 18:00~19:00
 場所：たん周
 議長：今井
 書記：藤崎 議事録署名人：今井、白波瀬
 出席者：会長：今井 副会長：白波瀬、石澤
 理事：青山、山田、荻野、小澤、中村、高嶋、早瀬、林雅弘、藤崎
 顧問：清井 事務局：山方
 委任状：西川、佐々木、林孝俊
 欠席：芦田、豊山、廣瀬、丹羽、田畑、湯浅、
 監事：日臨技理事：欠席

【報告・連絡事項】

○ 今井会長：
 ・11月12日 ニプロと近畿 SMBG セミナーの打ち合わせ 於：三菱京都病院
 ・11月28、29日 第49回近畿医学検査学会 於：み

やこめっせ
 ・11月28日 17時~18時 近畿臨床検査関連学会合同開催協議会 於：みやこめっせ
 ・11月29日 12時~13時 近畿臨床検査技師会理事会 於：みやこめっせ
 ・11月29日 15時30分~16時30分 近畿医学検査学会次期開催連絡会議 於：みやこめっせ
 ○ 石澤副会長：
 ・11月20日 京都私立病院協会45周年記念式典
 ・12月1日 京都医療功労者等表彰式
 ○ 白波瀬副会長：
 ・第49回近畿医学検査学会参加数報告
 日臨技会員1,148名、日本臨床検査医学会会員126名、日本臨床衛生検査所協会87名、非会員93名、賛助会員128名、小計(有料参加者数)1,582名
 来賓・講師等27名、賛助会員(ランチョン、プレゼン無料)115名、学生118名、小計(参加費免除数)260名

総参加者数 1,842名

○ 荻野学術部長：

- ・ 1月28日 近臨技 チーム医療推進委員会会議（みやこめっせ）
- ・ 1月29日 近臨技 理事会（みやこめっせ）
- ・ 1月29日 近臨技 学術部長会議（みやこめっせ）
- ・ 12月9日 近臨技 理事会（大臨技事務所）

○ 小澤総務部長：

- ・ 日臨技会長選挙結果 高田鉄也氏が当選
投票率 全国30.7% 京都府13.01%
 - ・ 次回行事予定表発送予定12月21日（月）
- 新春号になりますので会長の挨拶を掲載します
- ・ 12月10日 日臨技公益委託事業（エイズ予防啓発） 四条河原町阪急百貨店前で実施
- 日臨技エイズ啓発ポケットティッシュ、京臨技エイズ予防啓発コンドームを配布した

○ 佐々木理事：

- ・ 12月1日 京都医療功労者等表彰授章

【委嘱・承認事項】

1. 会員動向・・・承認

会員総数 967名（12月7日現在）

新入会 0名、退会 2名、転入 1名、転出 2名、仮会員 1名

【検討議案】

1. 22年度京臨技総会会場手配について（林雅弘）

提案：キャンパスプラザ京都を第1候補、ばるるプラザ京都を第2候補とした、使用許可がとれない場合は京都保健衛生専門学校で開催することも合わせて確認した。・・・承認

2. 日臨技都道府県公益委託事業の生活習慣病予防啓発に関する事業企画について（白波瀬）

生活習慣病予防啓発事業を企画することを確認した。企画内容については12月末までに日臨技へ企画の提出が必要なため、各理事からの提案をメールで受け決定することとした。・・・承認

3. 京都府臨床検査精度管理調査報告会（石澤）

京都府臨床検査精度管理調査報告会を3月6日（土）を行う予定とした。・・・承認

4. 第49回近畿医学検査学会 会長賞・学術奨励賞の選定について（荻野・山田）

24演題の絞り込みをおこなった。各研究班班長の意見を聞き最終判断することとした。

・・・継続議案

平成21年度第8回定例理事会予定

1月14日（木）18:30～20:30

会場：京都保健衛生専門学校

第20回京臨技北部学術発表会

日時：平成22年2月6日（土）9:20～17:30

（受付9:00～）

会場：まいづるベイ・プラザ（舞鶴商工観光センター）

5F コンベンションホール

舞鶴市字浜66番地 TEL0773-64-6800

企画・運営：北部学術研究班

学会長 四方学（綾部市立病院）

実行委員長 小畑 義規（舞鶴共済病院）

| | |
|-------|---------------------------|
| 9:00 | 総合受付 |
| 9:30 | リレー教育講座 「意外と知らない検査のこと」 |
| 12:10 | |
| | 休憩 |
| 12:50 | 京臨技会長あいさつ |
| 13:00 | 市民公開講座 「地域医療を守りたい」 |
| 14:00 | 休憩 |
| 14:15 | 一般演題 (1～17) |
| 16:35 | 休憩 |
| 16:45 | 特別講演 「大学における技師教育の現状」 |
| 17:50 | 移動 |
| 18:00 | |
| 18:20 | 情報交流会 |
| 20:00 | |

市民公開講座 (第20回京臨技・北部学術発表会特別講演)

地域医療を守りたい

～住民としてできること～

2010年2月6日(土) 午後1時～2時
まいづるベイ・プラザ舞鶴市商工観光センター
コンベンションホール(5階)

舞鶴市字浜66 TEL 0773-64-6800



入場無料 託児所有

講師：丹生裕子さん(たんじょうゆうこ)

県立柏原病院の小児科を守る会代表

近年、勤務医不足で医師の負担が激増し、医療崩壊は深刻な状況である。兵庫県立柏原病院では、人事異動と後任医師の不足から小児科閉鎖の危機となった。これに危機感を抱いた地域住民が結成したのが、県立柏原病院の小児科を守る会である。『子供を守ろう！お医者さんを守ろう！』を原点に活動し、小児科閉鎖を食い止めた。

地域の医療を守りたい、住民としてできることは？

県立柏原病院の小児科を守るために立ち上がったお母さんたちの活動のお話である。

【問い合わせ】舞鶴共済病院 臨床検査科 小畑・村上 0773-62-2510

主催：(社)京都府臨床検査技師会

講師：丹生裕子さん（たんじょうゆうこ）

県立柏原病院の小児科を守る会代表

近年、勤務医不足で医師の負担が激増し、医療崩壊は深刻な状況である。兵庫県立柏原病院では、人事異動と後任医師の不足から小児科閉鎖の危機となった。これに危機感を抱いた地域住民が結成したのが、県立柏原病院の小児科を守る会である。『子供を守ろう！お医者さんを守ろう！』を原点に活動し、小児科閉鎖を食い止めた。地域の医療を守りたい、住民としてできることは？
県立柏原病院の小児科を守るために立ち上がったお母さんたちの活動のお話である。